

10/17 児童が柿を収穫。学校給食にも



▲大学生のサポートを受けながら、柿の根元をはさみで切る児童

九会小学校3年生34人が、神戸大学大学院農学研究科付属食資源教育研究センター（鷓野町）の協力で「柿の収穫体験」をしました。

児童は、ひらたねなしがき同大農学部3年生と一緒に平核無柿を収穫。その後、二酸化炭素に浸す装置で渋みを取る方法などを学びました。金子尚輝しやうきくんは「甘くなった柿を給食で食べるのが楽しみ」と笑顔で話しました。

10/20 Jリーグ昇格を目指すチームが表敬訪問



▲地域貢献活動にも積極的に取り組む選手ら

加古川市を拠点とするサッカーチーム「バンディオンセ加古川」が、西村和平市長を表敬訪問しました。

同チームは、関西1部リーグに所属し、Jリーグ昇格を目指しています。福井県で行われた全国社会人サッカー選手権大会では、惜しくも敗退はしたものの、兵庫県代表として活躍。加西市でも、フットサルのコーチとして子どもから大人までを指導しています。

10/23 大橋実華さんにさわやか市民賞



▲中学時代よりも自信が持てるようになった大橋さん

加西市は、学術で優秀な成績を収めた大橋実華さん（県立視覚特別支援学校3年、田原町）に「さわやか市民賞」を贈呈しました。

大橋さんは、6月に行われた「第55回近畿盲学校弁論大会」で優勝。近畿地区代表として出場した「第86回全国盲学校弁論大会（10月6日）」で、準優勝という素晴らしい成績を収められました。

10/28 革小物の製作体験で人権を学ぶ



▲製作体験をすることで、皮革業をより身近に感じた参加者

加西市人権教育協議会は、皮革業について考える学習として、北野工房のまち（神戸市中央区）などを訪問する「人権フィールドワーク」を行いました。

参加者18人は、額田淳さん（マイスター）の指導を受けながら、花やいかりの形をした飾りを牛革に取り付け、オリジナルのコインケースを作りました。また、賀川記念館も訪れ、人権について学びました。

10/29 「農」と「食」の祭典を加西で初開催



▲新鮮野菜などが販売された（農）あびきのブース

第1回北播磨「農」と「食」の祭典が10月28・29日、フラワーセンターで開催され、家族連れら約7,000人で賑わいました。加西市からは、富田まちづくり協議会や（農）あびき、（農）玉野町営農組合、ももこのイレブンが、農産品などを出店しました。

また、同時開催として「兵庫ご当地グルメフェスティバル」「じば産物産展」も行われました。

11/11 世界最高齢プログラマーの若宮さん



▲何歳になってもいきいきと地域で暮らしていこうと話す若宮さん

加西市老連創立50周年＆加西市制50周年記念として、健康福祉会館で世界最高齢プログラマーで人生100年時代構想会議のメンバー『若宮正子さん』の講演会を開催しました。

若宮さんは「年齢に関係なく、やりたいことにチャレンジしてほしい」などと話し、約180人の参加者が聞き入りました。

11/11 加西南産業団地杯を初開催



▲北条野球スポーツ少年団の下山敬太郎さんが選手宣誓

市制50周年を記念して、加西南産業団地連絡協議会が同団地グラウンドで、「加西南産業団地杯兼加西市ジュニア野球大会」を開催しました。

同協議会の地域交流事業として初めて開催され、市内4チームが熱戦を繰り広げました。決勝は、北条野球スポーツ少年団が、7対4で九会野球スポーツ少年団に勝利し優勝しました。

11/11 ふるさと加西への愛着と誇りを育む



▲来年の再会を約束して記念撮影

東京を中心に、関東在住の加西市出身の方やゆかりのある方が集う「東京加西会」が、KKRホテル東京で開催されました。郷土の発展に寄与することを目的に、今回で29回目の開催です。

同会の竹本進一会長が「故郷に思いを寄せて、語り合いましょう」とあいさつ。会員など50人が1年ぶりの再会を喜び、ふるさと談議に花を咲かせました。